

第5期末	
1口当たり純資産価格	85.96米ドル
純資産総額	767,150,859米ドル
第5期	
騰落率	-11.85%
1口当たり分配金額	2.14米ドル

(注)本報告書に記載されているファンドの純資産価額、1口当たり純資産価格および騰落率は、原則として、ファンドの日々開示のデータを使用しており、ファンドのアニユアルレポートに掲載されている数値とは異なる場合があります。

(注)騰落率は、税引き前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。以下同じです。

(注)1口当たり分配金額は、税引き前の分配金額を記載しています。以下同じです。

(注)当報告書における比率は、表示桁未満四捨五入です。

(注)各会計年度の純資産価額の財務書類記載の数値との差異は、一定の調整の結果生じています。以下同じです。

本報告書に記載の「1口当たり純資産価格の主な変動要因、投資環境およびポートフォリオについては、ファンドのアニユアルレポートの該当部分の翻訳であり、本報告書と原文(英文)との間に相違がある場合には、原文(英文)の内容に従うこととなります。なお、原文(英文)の記載のうち、ファンドに関係しない部分を省略する場合があります。

●トラスト

J.P.モルガン・エクステンジ・トレーディッド・ファンド・トラスト

J.P.モルガン・エクステンジ・トレーディッド・ファンド・トラスト - JPモルガン・ベータビルダーズ・MSCI米国リートETF

J.P. Morgan Exchange-Traded Fund Trust - JPMorgan BetaBuilders MSCI US REIT ETF

米ドル建／オープンエンド契約型外国投資信託
米国デラウェア法定信託

交付運用報告書

作成対象期間

第5期(2022年3月1日～2023年2月28日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

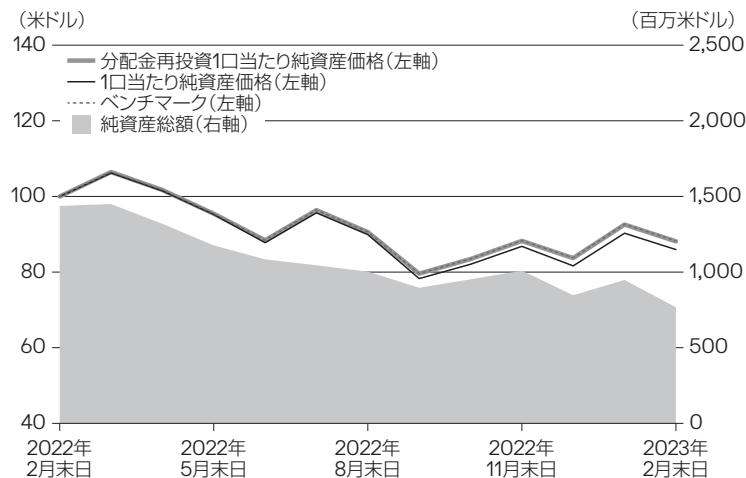
さて、J.P.モルガン・エクステンジ・トレーディッド・ファンド・トラスト(以下「トラスト」といいます。)ーJPモルガン・ベータビルダーズ・MSCI米国リートETF(以下「ファンド」といいます。)は、このたび、第5期の決算を行いました。ファンドは、手数料および費用控除前において、MSCI米国リート・カスタム・キャップト指数に密接に対応する投資効果を目指します。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

J.P.Morgan
ASSET MANAGEMENT

運用経過

◎当期の純資産価格等の推移



1口当たり純資産価格	
第4期末	99.98米ドル
第5期末 (1口当たり分配金額)	85.96米ドル (2.14米ドル)
騰落率	-11.85%

(注) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引き前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。以下同じです。

(注) 分配金再投資1口当たり純資産価格およびベンチマークは、第4期末(2022年2月末日)の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

(注) 上記は、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) ファンドのベンチマークは、MSCI米国リート・カスタム・キャップ指数(MSCI US REIT Custom Capped Index)(以下「対象指数」といいます。)です。

◎1口当たり純資産価格の主な変動要因

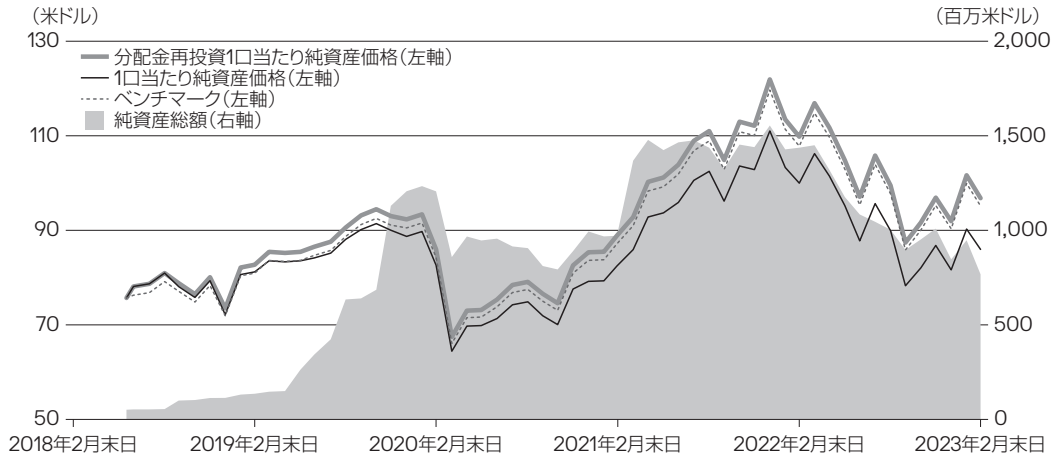
後記「投資環境について」ならびに「ポートフォリオについて」を御参照ください。

◎費用の明細

項目	項目の概要	
運用報酬	ファンドの日々の純資産総額に対し年率0.11%	ファンドの投資運用業務および管理事務代行業務への対価
その他の費用	0.00%	ファンドが負担したその他の費用金額

(注) 各報酬については、英文目論見書に定められている料率を記しています。

◎最近5年間の純資産価格等の推移について



	運用開始日 2018年6月15日	第1期末 2019年2月28日	第2期末 2020年2月29日	第3期末 2021年2月26日	第4期末 2022年2月28日	第5期末 2023年2月28日
1口当たり純資産価格(米ドル)	75.69	81.21	82.62	82.46	99.98	85.96
1口当たり分配金額(米ドル)	—	1.35	1.85	2.51	1.89	2.14
ファンドの騰落率(%)	—	9.27	3.95	3.36	23.56	-11.85
ベンチマークの騰落率(%)	—	6.93	4.15	3.36	23.75	-11.74
純資産総額(百万米ドル)	51	136	1,206	971	1,437	767

(注1) 分配金再投資1口当たり純資産価格ならびにベンチマークは、運用開始日の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。
 (注2) ファンドのベンチマークは、対象指数です。

◎投資環境について

当期間における米国株式のリターンは全体的にマイナスとなりましたが、金利が上昇し、インフレ率も過去40年で最高水準まで跳ね上がるなか、米国不動産セクターが、最もパフォーマンスの低いセクターの一つとなりました。住宅ローン金利の上昇が住宅建設セクターを圧迫し、またオフィスセクターは、在宅勤務のトレンドのなかで、オフィス利用率の低下による打撃を受けました。小売セクターもまた、消費者のオンライン・ショッピング志向の流れのなかでパフォーマンスが低迷しましたが、期間後半には対面でのショッピングに対する需要の高まりの兆候が見られました。一方で、ホテルセクターは、歴史的に高い水準の米国家計貯蓄や旅行に対する消費者の繰越需要の恩恵を受けました。個人向け収納セクターも、より広範な不動産セクターのパフォーマンスを上回りました。

◎ポートフォリオについて

ファンドのパフォーマンス

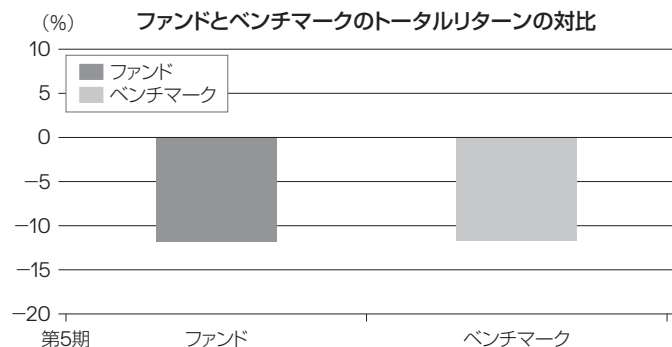
2023年2月28日に終了した12か月において、ファンドは、ファンドのポートフォリオの営業費用、手数料および税務管理の控除前で、対象指数およびMSCI米国REIT指数の両方に沿ったパフォーマンスとなりました。

ファンドおよび対象指数のオフィスおよび住宅REITセクターへのエクスポージャーは、絶対値パフォーマンスの大きなマイナス要因となりました。ファンドおよび対象指数の分散型REITセクターへのエクスポージャーは、絶対値パフォーマンスの唯一のプラス要因となりました。

ファンドのポジション

報告期間末において、ファンドおよび対象指数の最大の組入比率は、集合住宅および分散型REITセクターとなり、最小の組入比率は、ホテルおよび地域商業施設REITセクターとなりました。

◎ベンチマークとの差異について



◎分配金について

当期(2022年3月1日～2023年2月28日)の1口当たり分配金(税引前)はそれぞれ下表のとおりです。なお、下表の「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落日における1口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

(金額:米ドル)

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率 ^(注1))	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額 ^(注2)
2022年3月22日	103.41	0.22944 (0.22%)	-3.10
2022年6月21日	85.20	0.4361 (0.51%)	-17.77
2022年9月20日	84.57	0.77968 (0.91%)	0.15
2022年12月20日	80.92	0.69593 (0.85%)	-2.95

(注1)「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

対1口当たり純資産価格比率(%)=100×a/b

a=当該分配落日における1口当たり分配金額

b=当該分配落日における1口当たり純資産価格+当該分配落日における1口当たり分配金額

(注2)「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額=b-c

b=当該分配落日における1口当たり純資産価格+当該分配落日における1口当たり分配金額

c=当該分配落日の直前の分配落日における1口当たり純資産価格

(注3)2022年3月22日の直前の分配落日(2021年12月21日)における1口当たり純資産価格は、106.74米ドルでした。

今後の運用方針

ファンドは、手数料および費用控除前において、対象指数に連動する投資効果を目指します。今後も投資方針に従い、引き続き運用を行います。

お知らせ

該当事項はありません。

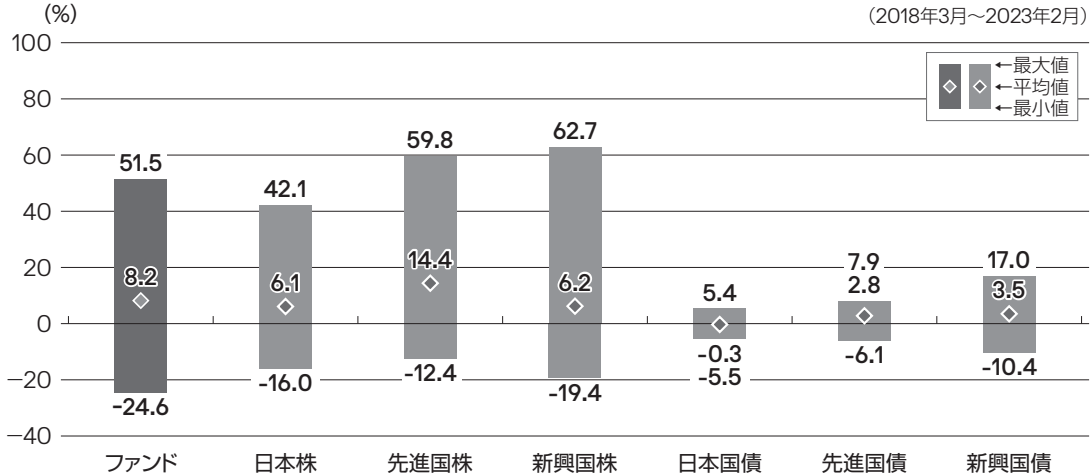
ファンドの概要

ファンド形態	米ドル建／オープンエンド契約型外国投資信託 米国デラウェア州籍法定信託
信託期間	無期限
運用方針	ファンドは、手数料および費用控除前において、対象指数に密接に対応する投資効果を目指します。
主要投資対象	ファンドは、手数料および費用の控除前において、対象指数のパフォーマンスに密接に連動する投資成果を目指します。ファンドは、その本件資産の少なくとも80パーセントを、対象指数に組み入れられている有価証券に投資します。「本件資産」とは、純資産に、投資目的の借入金を加えたものを意味します。対象指数は、米国持分型不動産投資信託(REIT)証券のパフォーマンスを測定するための浮動株調整時価総額加重指数です。対象指数は、指数提供者であるMSCIインク(MSCI Inc.)により決定された、市場で取引されている米国持分型REITの投資証券から構成されます。
運用方法 および 投資制限	<p>ファンドは、「パッシブ型」投資手法または指数連動型の投資手法を用いることにより、対象指数の投資パフォーマンスに密接して連動することを目指します。投資顧問会社は、時の経過とともに、手数料および費用の控除前のファンドのパフォーマンスと対象指数のパフォーマンスの間の相関関係が95パーセント以上になるものと見込んでいます。100パーセントという数値は、完全な相関関係を表します。多くの投資会社と異なり、ファンドは、対象指数を上回るパフォーマンスを目指すことはせず、市場の下落時や市場に過熱感がある場合に一時的な防衛的ポジションを取ることもしません。</p> <p>ファンドの目的は、対象指数の構成銘柄を可能な限り複製することです。「複製」は、パッシブ型指数戦略であり、かかる戦略においては、ファンドはその対象指数内の実質的にすべての有価証券に対象指数と概ね同一の比率により投資します。ただし、様々な状況下において、対象指数内の構成銘柄それぞれの組入率に応じて銘柄のすべてまたは銘柄のみの買付けまたは保有を行うことが不可能または実務的でない場合があります。そのような状況においては、ファンドが「代表サンプリング」戦略を利用し、かかる戦略により、構成銘柄の投資特性に近似させることを目指して有価証券の選択が行われることがあります。ファンドが代表サンプリング戦略を用いる場合、対象指数の相当の数の構成銘柄を保有することになりますが、対象指数全体を複製する投資ビークルを用いる場合と同程度の正確性をもって対象指数を追跡することはできないことがあります。ファンドが代表サンプリングを利用する場合であっても、ファンドは、その本件資産の少なくとも80パーセントを、対象指数に組み入れられている有価証券に投資しなければなりません。ファンドのポートフォリオは、対象指数の四半期ごとの組換えに従い、四半期ごとに組み換えられます。</p> <p>ファンドは、対象指数に連動したパフォーマンスを目指して、その資産の20パーセントを上限として、上場先物に投資することがあります。</p> <p>対象指数内の有価証券が一または複数の産業または産業集団に集中している場合、ファンドは、当該産業または当該産業集団に集中することがあります。</p>
分配方針	<p>ファンドは、各課税年度の投資純利益の大部分を分配することを想定しています。</p> <p>分配金が受益証券に再投資される受益者は、当該受益者が現金で分配金を受け取ることを選択した場合に受け取るであろう現金の額に等しい配当金を受け取ったものとして取り扱われます。</p>

参考情報

<ファンドと他の代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較>

2018年3月～2023年2月の5年間(ただし、ファンドについては2019年5月から2023年2月)における年間騰落率(各月末時点)の平均と振れ幅を、ファンドと他の代表的な資産クラス(円ベース)との間で比較したものです。このグラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。



〔ご注意〕

- ファンドの年間騰落率(各月末時点)は、各月末とその1年前における分配金再投資1口当たり純資産価格を対比して、その騰落率を算出したものです。(月末が営業日でない場合は直前の営業日を月末とみなします。)
- 代表的な資産クラスの年間騰落率(各月末時点)は、各月末とその1年前における下記の指数の値を対比して、その騰落率を算出したものです。(月末が休日の場合は直前の営業日を月末とみなします。)
- ファンドと代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較は、上記の5年間の各月末時点における年間騰落率を用いて、それらの平均最大最小をグラフにして比較したものです。
- ファンドは、代表的な資産クラスの全てに投資するものではありません。
- 上記の騰落率は、期末時点の数値とは異なります。

○代表的な資産クラスを表す指数

- 日本株・・・TOPIX(配当込み)
- 先進国株・・・MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)
- 新興国株・・・MSCIエマーシング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)
- 日本国債・・・NOMURA-BPI(国債)
- 先進国債・・・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
- 新興国債・・・JPモルガンGBI-エマーシング・マーケット・グローバル(円ベース)

(注)海外の指数は、為替ヘッジを行わないものとして算出されたものです。なお、MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)およびMSCIエマーシング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、委託会社で円換算しています。

TOPIX(東証株価指数)の指数値及びTOPIXに係る商標又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」といいます。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る商標又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。

MSCIコクサイ指数およびMSCIエマーシング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が発表しています。同インデックスに関する情報の確実性および完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。著作権はMSCI Inc.に帰属しています。MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)およびMSCIエマーシング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、同社が発表したMSCIコクサイ指数(配当込み、米ドルベース)およびMSCIエマーシング・マーケット・インデックス(配当込み、米ドルベース)を委託会社にて円ベースに換算したものです。

NOMURA-BPI(国債)は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が作成している指数で、当該指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しております。また、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、当該インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPモルガンGBI-エマーシング・マーケット・グローバルは、J.P.モルガン・セキユリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ.P.モルガン・セキユリティーズ・エルエルシーに帰属しています。

ファンドデータ

◎ファンドの組入資産の内容(第5期末現在)

組入上位資産

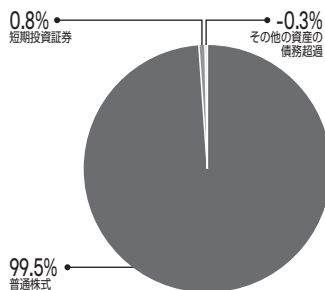
(組入銘柄数:130銘柄(マネー・マーケット・ファンドを含みます。))

順位	銘柄	組入比率(%)
1	Prologis, Inc., REIT	11.3
2	Equinix, Inc., REIT	6.3
3	Public Storage, REIT	4.7
4	Realty Income Corp., REIT	4.0
5	Simon Property Group, Inc., REIT	4.0
6	Welltower, Inc., REIT	3.5
7	VICI Properties, Inc., REIT	3.2
8	Digital Realty Trust, Inc., REIT	3.0
9	AvalonBay Communities, Inc., REIT	2.4
10	Alexandria Real Estate Equities, Inc., REIT	2.3

(注)組入比率はファンドの純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。以下のグラフも同様です。

(注)組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

資産別配分



(注)国別配分は発行国を表示しています。

国別配分

当該情報については開示されていません。

通貨別配分

当該情報については開示されていません。

◎純資産等

第5期末	
純資産総額	767,150,859米ドル
発行済口数	8,625,000口
1口当たり純資産価格	85.96米ドル

第5期末		
販売口数	買戻口数	発行済口数
4,900,000	9,850,000	8,625,000